

# 長岡技術科学大学定例記者会見

日 時 : 平成27年3月10日(火) 13:30～

場 所 : 本学事務局3階第1会議室

内 容 : 1. GIGAKU テクノパーク海外事務所の設置について(モンゴル、メキシコ)  
(東 信彦 理事・副学長)

2. Gantumur モンゴル国教育文化科学大臣へ学長特命教授の称号を授与  
(東 信彦 理事・副学長)

3. 「第1回GIGAKU テクノパーク アライアンス  
ミーティング 2015」の開催について  
(物質・材料系 小林 高臣 教授)

4. 原子力システム安全工学専攻の教職課程認定について  
(原子力安全系 鈴木 一彦 教授)

5. 紅茶でときめきっ!? 一味覚・嗅覚と感性―  
【KIRINからの受託研究の成果】  
(電気系 中川 匡弘 教授)

6. 平成26年度「学部卒業式・大学院修了式」  
及び平成27年度「入学式」について  
(西山 隆宏 企画・広報室長)

7. その他

- ・三条信用金庫 学長特命アドバイザー任命式について
- ・東京外国語大学との連携・協力に関する基本協定締結について
- ・十日町市との包括的連携に関する協定締結について

以 上

## 報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

### GIGAKU テクノパークモンゴル海外事務所の設置について（モンゴル、メキシコ）

長岡技術科学大学では、文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」事業（SGU）の取り組みの一つとして、このたび GIGAKU テクノパークモンゴル事務所、メキシコ事務所を設置しました。両事務所は本学の SGU 構想「GIGAKU テクノパーク」のモンゴル、メキシコにおける拠点となるものです。事務所設置の目的は、国内でベンチャービジネスを起こしたい方へのサポート等や学生の実践的な教育への支援、現地企業・日本企業・大学が協働してのベンチャー起業を目指すものです。

モンゴル事務所は、モンゴル科学技術大学（MUST）内の一室を借り上げて設置したもので、帯金学長特命教授が常駐します。

3月2日（月）に、新原学長をはじめとする本学教職員が MUST における調印式に出席し、新原学長と Baatar Ochirbat MUST 学長が GIGAKU テクノパークモンゴル事務所開所にかかる協定書に署名しました。調印式には現地の報道機関が多数取材に訪れ、SGU 事業構想への期待の高さがうかがわれました。

同日夕刻には、モンゴル・ウランバートル市内にある Best Western Premier Tuushin Hotel において、開所祝賀会を行いました。祝賀会には Gantumur モンゴル国教育文化科学大臣をはじめとしたモンゴル国政府関係者、山本在モンゴル日本国大使館一等書記官（清水全権大使代理）をはじめとした大使館関係者、Baasandash 副学長、Tsolmonbaatar 機械および輸送工学校長等をはじめとしたモンゴル科学技術科学大学関係者、JICA 関係者など、約40名の方々にご出席いただき、Gantumur 大臣をはじめとする方々から祝辞をいただきました。

メキシコ事務所は、メキシコ・グアナファト州にあるグアナファトテクノパーク内に本学の事務所を設置したものです。

3月6日（金）に、グアナファトテクノパーク内で行われた調印式には、東理事・副学長をはじめとする本学教職員が参加し、東副学長、Hector Plascencia Mora グアナファトテクノパーク所長が協定書に署名をしました。式典にはモンゴルと同様に現地の報道機関が多数取材に訪れ、東副学長等にインタビューを行いました。

同日執り行われた祝賀会には Jose Manuel Cabrera Sixto 総長をはじめとしたグアナファト大学関係者、CONACyTEG の Dr. Antonio Vega Corona などの政府関係者ほか、企業関係者など多数の方々に出席いただき、祝辞をいただきました。

今回の2つの事務所開設を機に、モンゴル及びメキシコ両国の産業の更なる活性化や日本とモンゴル、メキシコの教育・研究をはじめとした様々な分野での連携強化を図ってまいります。

報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

Gantumur モンゴル国教育文化科学大臣へ学長特命教授の称号を授与

3月2日（月）に Gantumur（ガントウムル）モンゴル国教育文化科学大臣に、長岡技術科学大学学長特命教授に任命いたしました。就任式は、同日、ご出席いただいた GIGAKU テクノパークモンゴル事務所開所祝賀会の中で行われました。

Gantumur 大臣は本学の卒業生であり、日本留学経験者として初めてモンゴルの大臣に就任され、就任直後の平成24年10月には本学の名誉博士号を授与しており、平成25年11月には本学へ訪問いただいております。

Gantumur 大臣は、現在の重責に就かれてから本日まで、新原学長を含め本邦の政府関係者等と多数の議論を重ね、モンゴル国の教育改革や日本・モンゴルの人材交流等について尽力されてこられました。

Gantumur 大臣からは、この度の本学学長特命教授への就任を非常に誇りとしており、今後ますますの日本・モンゴル間の教育研究交流の発展や本学の取り組みに協力したいとの発言がありました。

Luvsannyam GANTUMUR（ロブサンニャム・ガントムル）モンゴル国 教育文化科学大臣

平成8年（1996年）仙台電波工業専門学校卒業

平成10年（1998年）長岡技術科学大学卒業（電気・電子システム工学課程）



## 第1回 GIGAKU テクノパークアライアンスミーティングの開催について

長岡技術科学大学が取り組むスーパーグローバル大学創成支援のグローバル化牽引型プログラムでは、本学がこれまでに築き上げてきた産業界、海外大学とのネットワークを土台として、世界を牽引する次世代の戦略的地域との強固なネットワークを持ち、実践的グローバル技術者教育を先導し続ける大学となることを目指します。本学のグローバル化構想では、**グローバル産学官融合キャンパス**を構築し、高専-技大（技学）教育研究モデルを次世代戦略地域に展開します。ここで、GIGAKU 教育研究ネットワーク構築と**産学連携モデルを戦略的海外拠点に展開した GIGAKU テクノパークネットワークの構築を柱**とした構想で、地域のグローバル化を牽引します。ネットワークを展開する海外戦略的拠点地域は、特に日系企業進出地域で日本の産業を牽引する地域に的を絞り選び抜かれた地域であり、かつ、本学の連携協力校が位置する所でもあります。

メキシコ（グアナファト大学）、モンゴル（モンゴル科学技術大学）に本学の GIGAKU テクノパークオフィスを開設し、これら地域では既に現地進出日系企業の支援と R&D 研究の展開を目指して活動しています。また、今月中にベトナム（ハノイ工科大学）、4 月以降、タイ（チュラロンコン大学）、マレーシア（マレーシア科学大学）、バスク（モンドラゴン大学等）、ミャンマー（ヤンゴン大学）への拠点開設を目指し、現地への日系企業へのテクノパーク網を広げ、以下に示す主に4つを重点項目とした事業を展開します。

### ●産学官融合キャンパスの展開

グローバルに展開した GIGAKU テクノパーク (GTP) により、産学官連携プロジェクトと学実践教育をリンクさせた各戦略地域での産学官融合キャンパスの構築を目指します。特に、国際共同研究を展開し研究シーズの具現化による製品開発への応用と社会人技術者の育成、学生・高専生・高校生・SME (中小企業) 技術者・教職員の相互派遣交流を促進します。

### ●国際共同研究プロジェクトと技術産業化支援

本学の産学共同研究の展開力を利用し、国内外企業ニーズ、技術的イノベーション調査等を進め、企業とのグローバル共同研究を通じた産業のイノベーションの実現を目指します。またこの実践的グローバル応用研究に企業技術者が参加することで、グローバル技術者の人材育成の新たなシステムの構築と運用を行ないます。

### ●実践的グローバル技術者の育成

産学官連携研究プロジェクトを通して、グローバル社会の要求に応え、それを牽引する実践的グローバル人材、技術者を輩出します。

### ●GTP の支援と牽引による日本の中小企業のグローバル化

GTP を拠点とした、日本の中小企業の海外進出及びベンチャー企業化の支援ならびに日系企業、現地企業の持続的イノベーションを支援します。

このような本学独自の産学官連携グローバル構想では、本学の産学連携のグローバル化をはかるだけで

なく、特に地域産業を支える中小企業の海外進出を活性化し、地域産業の躍進に寄与する事のできるプログラムです。

第1回 GIGAKU テクノパークアライアンスミーティングは、海外戦略的拠点地域からその先駆的取り組みを紹介する事で、各戦略的地域の今後の戦略の効率化運用を図る事を目的に開催します。特に先駆的成果が既にできつつある、メキシコグアナファト地域での取り組みを、はじめに紹介しその情報を共有することで、この新たな取り組みの推進を図る事も目的の一つです。また、各地域の今後の取り組みも紹介されます。一方で、地域産業会がこれに参画する事で、本学の GIGAKU テクノパーク構想が、地域のグローバル化に大きく寄与できるため、地域産業界に広く参加を呼びかけています。今回招聘する各戦略的地域での実務者は、ベトナム、メキシコ、モンゴル、バスク、タイ、マレーシアから参加し、活発な討論が期待されます。

### 第1回 GIGAKU テクノパークアライアンスミーティング2015

開催日及び会場 3月23日(月) 13時より ホテルニューオオタニ長岡(白鳥)  
3月24日(火) 10時より 長岡技術科学大学マルチメディアセンター

#### <3月23日>

13:00-13:20 開会式  
13:20-13:40 新原学長(長岡技術科学大学)  
13:40-14:00 東副学長(長岡技術科学大学)  
14:00-14:20 Hector Plascencia Mora 所長(グアナファトテクノパーク)  
14:20-14:40 Ernesto Alfredo Camarena Aguilar サラマンカキャンパス校長(グアナファト大学)  
14:40-15:00 休憩  
15:00-15:25 Nguyen Van Khang 副学長(ハノイ工科大学)  
15:25-15:50 Baasandash Ch. 副学長(モンゴル科学技術大学)  
15:50-16:15 Srithan Jiemsirilars 教授(チュラロンコン大学)  
16:15-16:40 Inaki Hurtado 教授(モンドラゴン大学) / 辻合行雄(MCC日本代表事務所)  
16:40-17:05 Wan Ahmad Kamil Che Mahmood 化学部長(マレーシア科学大学)  
17:05-18:00 ディスカッション司会: 小林教授(長岡技術科学大学)  
18:00- Antonio Vega Corona 長官(CONCYTEG)  
19:00-21:00 バンケット  
閉会

#### <3月24日>

10:00-10:25 Sergio Henrique Faria 教授/Pilar Kaltzada(気候変動バスクセンター)  
10:25- パネルディスカッション ~現地企業・日系企業へのGTP戦略~  
12:00- ランチディスカッション  
13:00-14:30 キャンパスツアー(技術開発センター)  
閉会式

【本件に関する問い合わせ先】 長岡技術科学大学 企画・広報室 広報係 Tel 0258-47-9209



報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

「原子力システム安全工学専攻の教職課程認定について」

原子力安全系 教授 鈴木一彦

原子力システム安全工学専攻では、学生に高等学校教諭専修免許状(工業)授与の所要資格を取得させるための課程認定を受けるため、文部科学省に申請していたところ、本年2月4日に認定を受けることができました。

本専攻では、機械工学や電気工学などの基盤工学の専門知識の上に原子力工学及びシステム安全の専門知識を身に付け、原子力の安全確保を図ることができる実践的・指導的技術者の養成を行っています。そこで、高等学校(工業高校)教員養成の理念として、基盤工学に関するより高度な知識を有するとともに、これらの知識が原子力システムにどのように活用されているか実践的に理解し、かつ、リスクをベースとして高い安全意識の育成を図ることができる教員を養成していきたいと考えております。

設置を目指した理由は、次の通りです。現在、原子力人材不足が深刻となっており、これに応える人材を育成する教員を養成すること、また、災害防止としての安全管理の重要性が教育現場でも強く認識されており、この要としてリスクをベースとするシステム安全工学の知識を修得した教員を養成することが、「工業」において不可欠となりつつあります。このような指導的人材としての教員を養成することが必要と考え、本専攻ではそれが可能と判断して、本専攻に「工業」の教職課程を設置することとしました。

本専攻は、これまでも原子力安全教育が大切であると考え、実践的原子力技術者養成の高専・大学一貫教育として2つの国際原子力人材育成イニシアティブ事業を行っています。さらに、教員への正確な教育が重要と考え、中学教員のための体験講座や小中学校での出前講座を行っています。

本専攻では、これまでの活動をより一層積極的に推進するとともに、このたび認定いただいた高等学校教諭としての養成を強化し、小学校からの一貫した原子力安全教育をより強力に進めていきたいと考えております。

## 紅茶でときめきっ!?

### ～嗅覚・味覚と感性～

今回、キリン株式会社の受託研究より、ヒトは紅茶を飲んでいるときに“ときめき感”を感じるということが分かりました。このような結果は、ヒトとヒトの会話を円滑にし、男女の会話が弾むために紅茶が有効であることを脳科学的に実証したものと考えられます。

具体的には、水、紅茶、緑茶の3つの飲料を飲んでいるときの脳波から複雑さの指標であるフラクタル次元を推定し、本学のカオス・フラクタル情報数理工学研究室で開発された、感性フラクタル次元解析法(EFAM)を用いて、飲料を飲んでいるときの感性を定量化しました。

そして、水を飲んでいるときの感性を基準として、紅茶、緑茶を飲んでいるときにどれだけ感性が変動しているか(感性変動率)を調べたところ、図1に示すように、紅茶を飲んでいるときには、ときめき感を強く感じているということが分かりました。一方、緑茶の飲料時には、寧ろときめき感が抑制されることが分かりました。このようなことから、嗅覚・味覚の観点から総合的に判断して、紅茶は会話を弾ませるのに効果がありそうだということが、定量的に見出されました。

### 感性変動率※1の比較

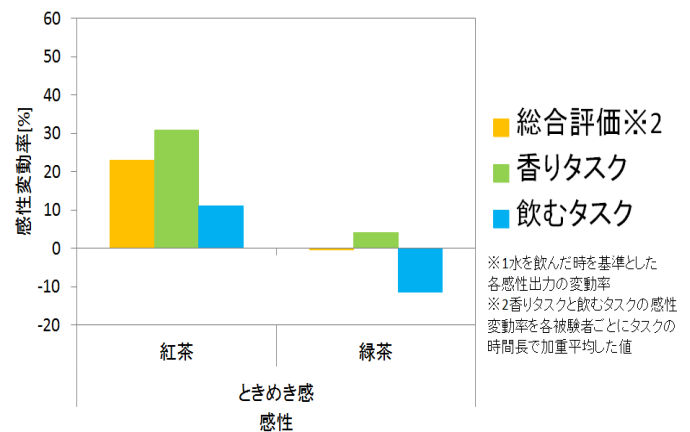


図1. ときめき感の感性変動率の比較

次に、香りを嗅いでいるときの脳波をフラクタル次元の時空間分布を用いて観察したところ、図2に示すように、紅茶の香りを嗅いでいるときは、緑茶の香りを嗅いでいるときに比べて、脳波のフラクタル次元がより高くなっていることが確認されました。これは、紅茶に含まれる香り成分により、脳が活性化し、脳波の複雑性を上げていることに起因すると考えられます。

さらに、嗅覚と密接に関係する海馬の活性化も確認されました。一般的に、嗅覚刺激は長期記憶として脳に保存されるといわれており、過去に嗅いだ香りと照合を行うために、第一次嗅覚野に隣接する海馬が強く活性化していると考えられます。

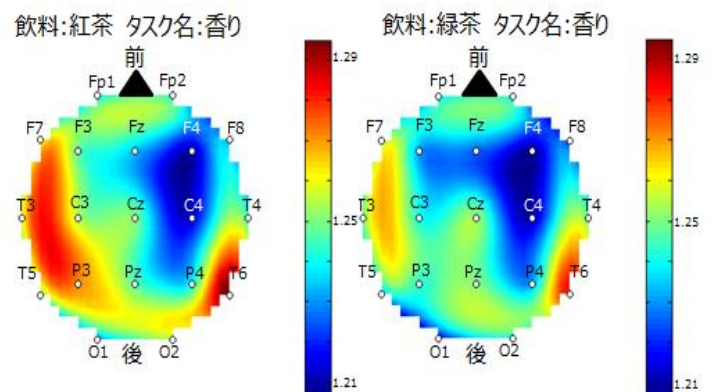


図2. 香りタスク時の脳の各部位のフラクタル次元

報道資料（行事関係）

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成26年度 長岡技術科学大学 学部卒業式・大学院修了式

I 日時：平成27年3月25日（水）10時00分から11時30分

II 場所：長岡市立劇場（長岡市幸町2-1-2）

III 式次第：

1. 開式の辞
2. 国歌独唱
3. 学位記授与
4. 学長告辞
5. 来賓祝辞
6. 卒業生・修了生代表答辞
7. 学生表彰
8. 大学歌斉唱
9. 閉式の辞

IV 来賓（予定）

1. 長岡商工会議所 副会頭
2. 公益財団法人 にいがた産業創造機構 テクノプラザ長
3. 長岡工業高等専門学校 校長
4. 名誉教授
5. 長岡技術科学大学同窓会 会長
6. 公益財団法人 長岡技術科学大学技術開発教育研究振興会 理事長



---

報道資料（行事関係）

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

平成27年度 長岡技術科学大学 学部入学式・大学院入学式

I 日時：平成27年4月5日（日）10時00分から10時30分

II 場所：長岡市立劇場（長岡市幸町2-1-2）

III 式次第

1. 開式の辞
2. 国歌独唱
3. 入学許可宣言
4. 入学生代表宣誓
5. 学長告辞
6. 大学歌斉唱
7. 閉式の辞

報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

学長特命アドバイザー（産金学連携担当）の任命式について

現在、本学は、スーパーグローバル大学創成支援事業において、民間企業との一層の連携強化のため、主要金融機関とのネットワークづくりを進めております。その中で、三条信用金庫からは、活発に企業紹介等の情報、特に、本学の戦略的海外拠点のひとつであるメキシコ進出企業を紹介していただき、現在、グアナファトテクノパークでの共同研究・人材育成戦略の展開、メキシコでの実務訓練生の受入等の提案がなされ、今後の展開が期待されるところです。

この度、燕三条地域での「産金学連携」への一層の支援を期待して、三条信用金庫の2名の方を「学長特命アドバイザー（産金学連携）」に任命いたします。ついては、任命式を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

記

【学長特命アドバイザー任命式】

日 時 平成27年3月18日（水）15:00～16:00

場 所 長岡技術科学大学 事務局1号棟 第一会議室

出席者 三条信用金庫

常勤理事・総合企画部長 陣内 純英 氏（学長特命アドバイザー（産金学連携））

総合企画部次長 田才 直行 氏（学長特命アドバイザー（産金学連携））

その他関係者

長岡技術科学大学

学 長 新原 皓一

理事・副学長 東 信彦

その他関係者

任命式の取材を希望される記者の方は、事前に下記問い合わせ先に連絡くださるようお願いいたします。また、当日は、自社腕章を着用くださるようお願いいたします。

（本件問い合わせ先）

国立大学法人長岡技術科学大学

企画・広報室 0258-47-9209

報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学  
東京外国語大学

長岡技術科学大学と東京外国語大学との連携・協力に関する基本協定締結について

このたび、長岡技術科学大学と東京外国語大学は、連携・協力を推進するため、「国立大学法人長岡技術科学大学と国立大学法人東京外国語大学との連携・協力に関する基本協定」を締結することとなりました。

協定締結式、協定の概要は、次のとおりです。

【協定締結式】

日時 平成27年3月20日（金）16:00～16:40  
場所 長岡技術科学大学 事務局1号棟 第一会議室  
出席者 長岡技術科学大学長 新原 皓一  
東京外国語大学長 立石 博高

【連携・協力事項】

- (1) 国際連携の推進
- (2) 国内外の施設・設備等の利用
- (3) プロジェクト研究及びシンポジウム等の共同実施
- (4) 単位互換及び学生の教育研究指導
- (5) その他必要と認める事項

協定締結式の取材を希望される記者の方は、事前に下記問い合わせ先に連絡くださるようお願いいたします。  
また、当日は、自社腕章を着用くださるようお願いいたします。

(本件問い合わせ先)

国立大学法人長岡技術科学大学  
企画・広報室 0258-47-9209

報道資料

平成27年3月10日

報道機関各位

長岡技術科学大学

### 十日町市との包括的連携に関する協定締結について

このたび、本学は、十日町市と、包括的な連携のもと、多様な分野で相互に協力し、地域社会の発展と人材育成に寄与することを目的とした包括的連携に関する協定を締結することとなりました。

協定締結式、協定の概要は、次のとおりです。

#### 【協定締結式】

日 時 平成27年3月16日（月）14：15～14：45

場 所 十日町市役所 大会議室（車庫棟）

（十日町市千歳町3丁目3番地）

出席者 長岡技術科学大学長 新原 皓一

十日町市長 関口 芳史

#### 【連携・協力事項】

- （1）産業振興
- （2）地域及び企業の課題解決
- （3）教育及び人材育成
- （4）防災及び減災
- （5）学生の支援及び地元定着
- （6）国際交流
- （7）その他

協定締結式の取材を希望される記者の方は、事前に下記問い合わせ先に連絡くださるようお願いいたします。

（本件問い合わせ先）

十日町市 総務部 企画政策課 企画政策係

担当：佐藤 ☎025-757-3193（直通）